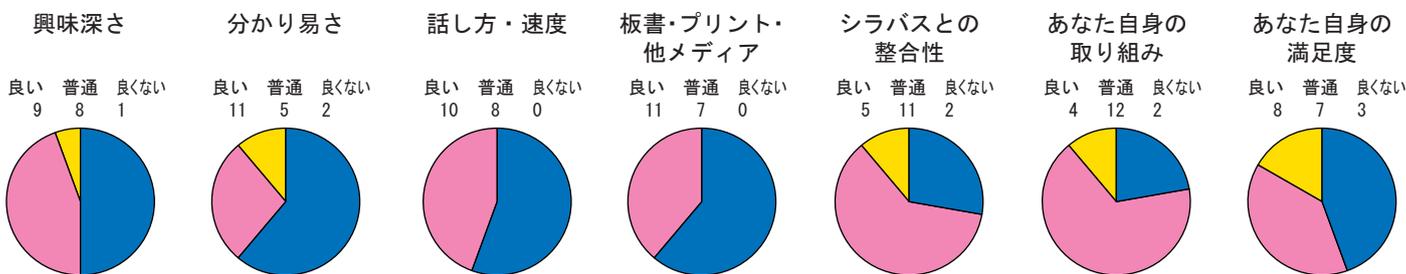


平成15年度1学期 生物学類授業評価

「生物物理学Ⅰ」

回答者数：18名 履修申請生物学類生数：30名 (回答率60%)



良かった点

- ・わかりにくいところはゆっくり説明されていて、質問もできた。
- ・説明を繰り返してくれて理解が深まった。
- ・ハンドアウトを配布してくれた点。
- ・大変興味深い内容でした。チャネルたんぱく質の性質を調べる方法についてとても論理的な思考が要求され、考える力がつきました。

改善すべき点

- ・休講が多すぎて悲しいです。
- ・休講が多かった。
- ・もう少し重要点についての板書を増やしてほしい。もっと広い教室で授業をして欲しい。
- ・プリントの内容がもう少し充実していたらよかった。
- ・特にありません。

担当教官のコメント

- 「良かった点」については今後も心がけ、ますます良い授業にしたいと思います。特に、“論理的な思考が要求され考える力がついた”と言ってもらえたのは、まさに私が目標としていたことで、うれしく思います。これからはクラス全部の皆さんにそう思ってもらえるよう努めるつもりです。
- 「板書を増やしてほしい」という点についてですが、2学期のコメントには板書について肯定的な意見もあります。板書を増やしすぎると進み方が遅くなるので、バランスがむずかしいところです。板書は少し増やす方向で考えますが、同時にもっと要領よくまとめる工夫もしてみます。
- “もっと広い教室で”ということに関しては、以前から学務に要望を出しています。しかし、他に空いていないという理由で実現していません。黒板も小さいスクリーンを置く場所も狭く、私自身不満に思っていますので、今後も要求して行きたいと思います。
- “プリント(ハンドアウト)”の内容は2004年度に大幅に改定しました。今後もますます充実させるよう努めます。ただし、図の説明が英語なのは、皆さんに英語で読むことを奨励するため(生物学類の方針でもある)、手を抜いたものではありません。
- “休講が多かった”ことについて。2003年度は海外の共同研究先とどうしても日程を調整することができず、今年度に限り学期中に1ヶ月ほどつくばを留守にしまいました。休講にした分は帰国後に補講をしましたので、内容的には例年通りです。ただ、補講が週末にかかったことや、集中して授業をせざるを得なかったことで、皆様にご迷惑をおかけしたことをお詫びします。